

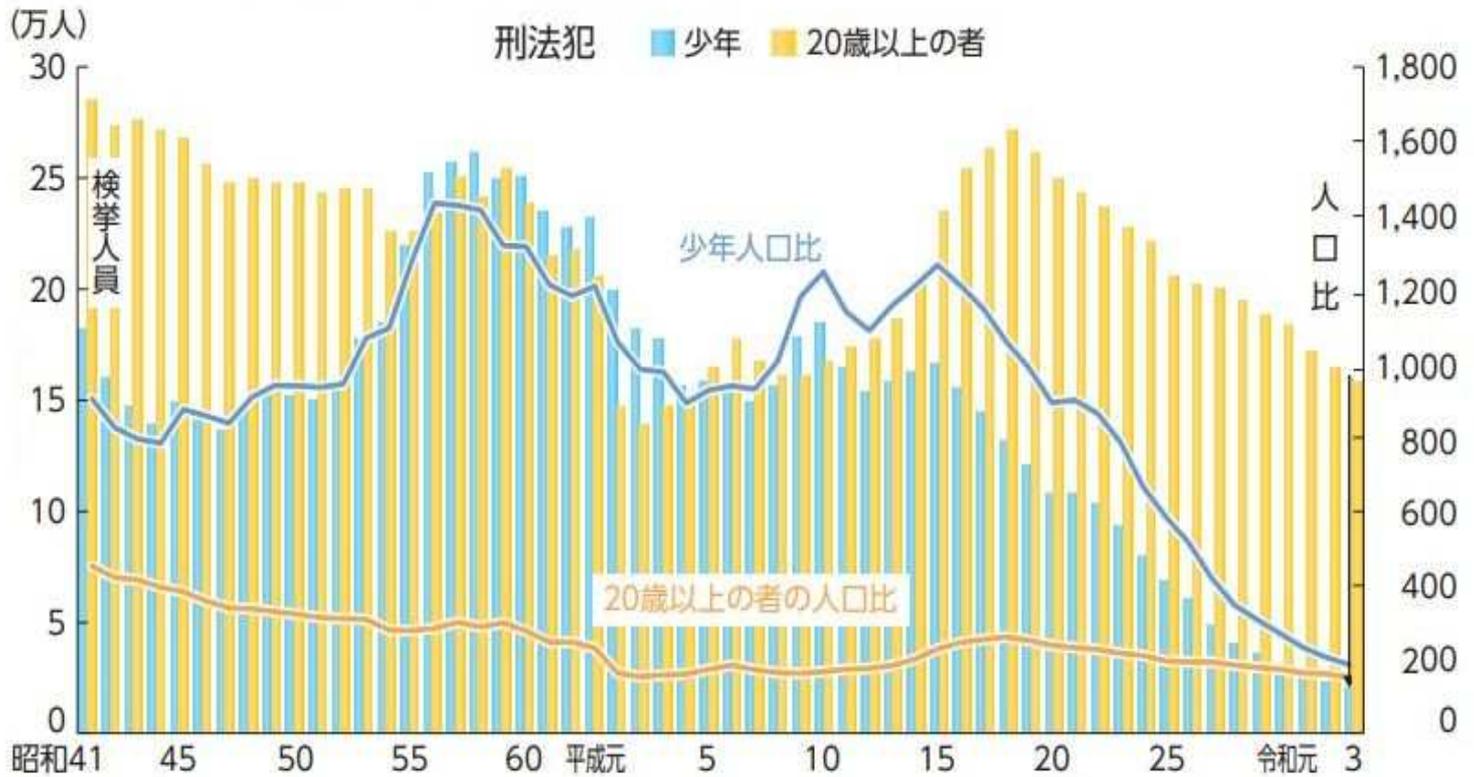
【目次】

1. 流動化する人間関係
2. 関係の内閉化と分断
3. 関係不安と承認欲求
4. しなやかな自己像へ



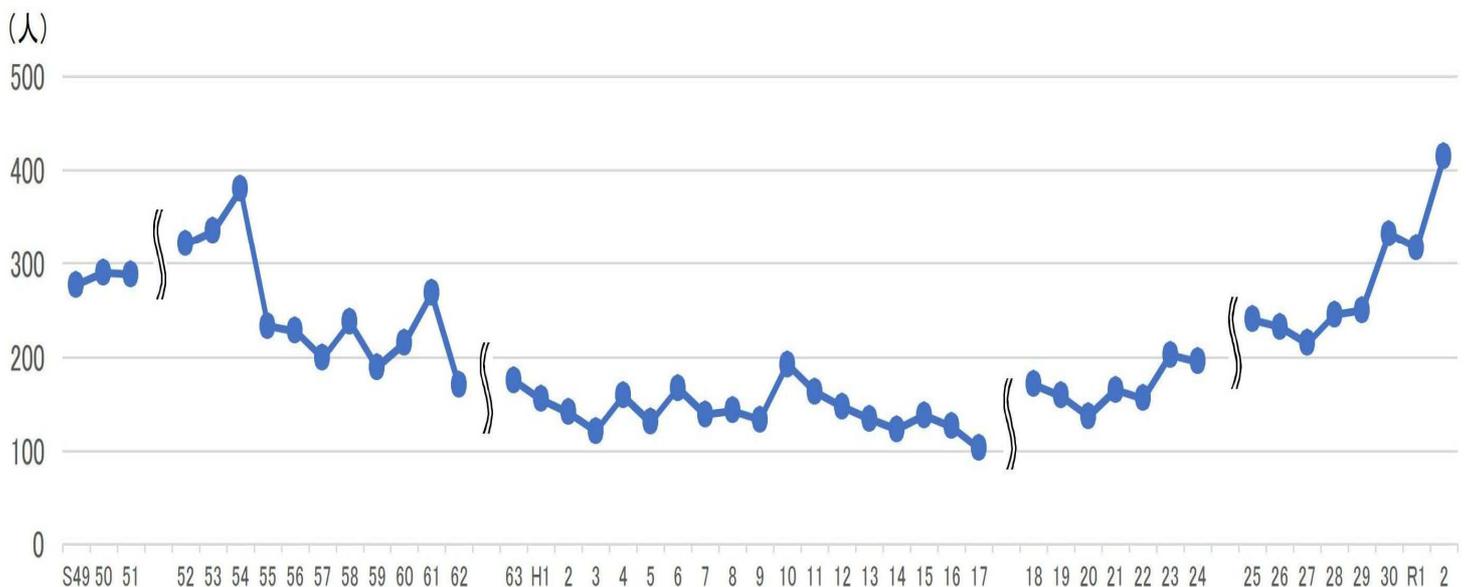
少年による一般刑法犯の推移

(法務省『犯罪白書』から転載)



児童生徒の自殺者数の推移

(文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」から)



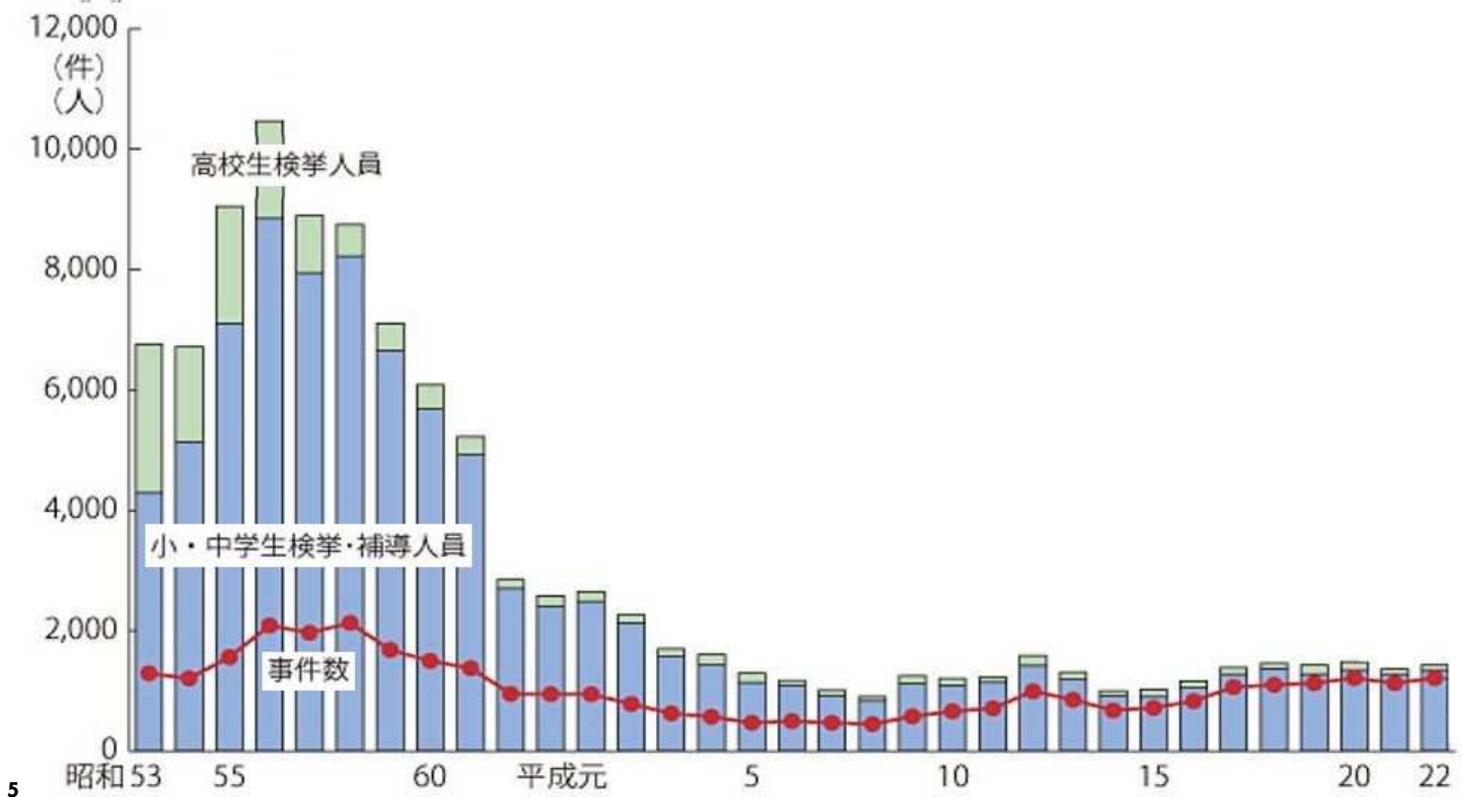
(注1) 昭和51年までは公立中・高等学校を調査。昭和52年からは公立小学校、平成18年度からは国私立学校、平成25年度からは高等学校通信制課程も調査。

(注2) 昭和49年から62年までは年間の数、昭和63年以降は年度間の数である。(注3) 学校が把握し、計上したもの。

文部科学省「令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査結果の概要」(2021年10月13日)から転載

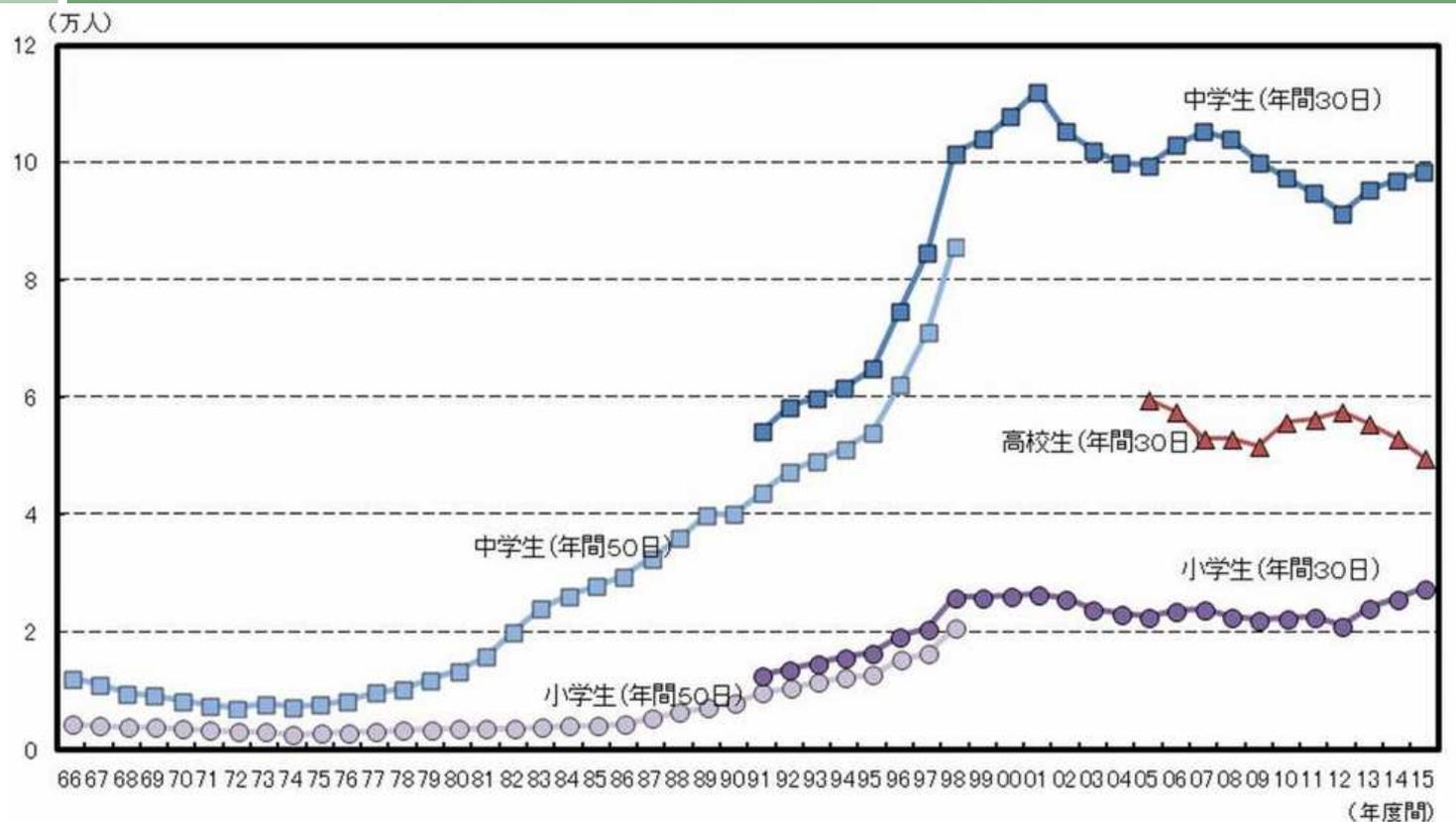
校内暴力の事件数と検挙補導人員の推移

(『平成23年版犯罪白書』から転載)



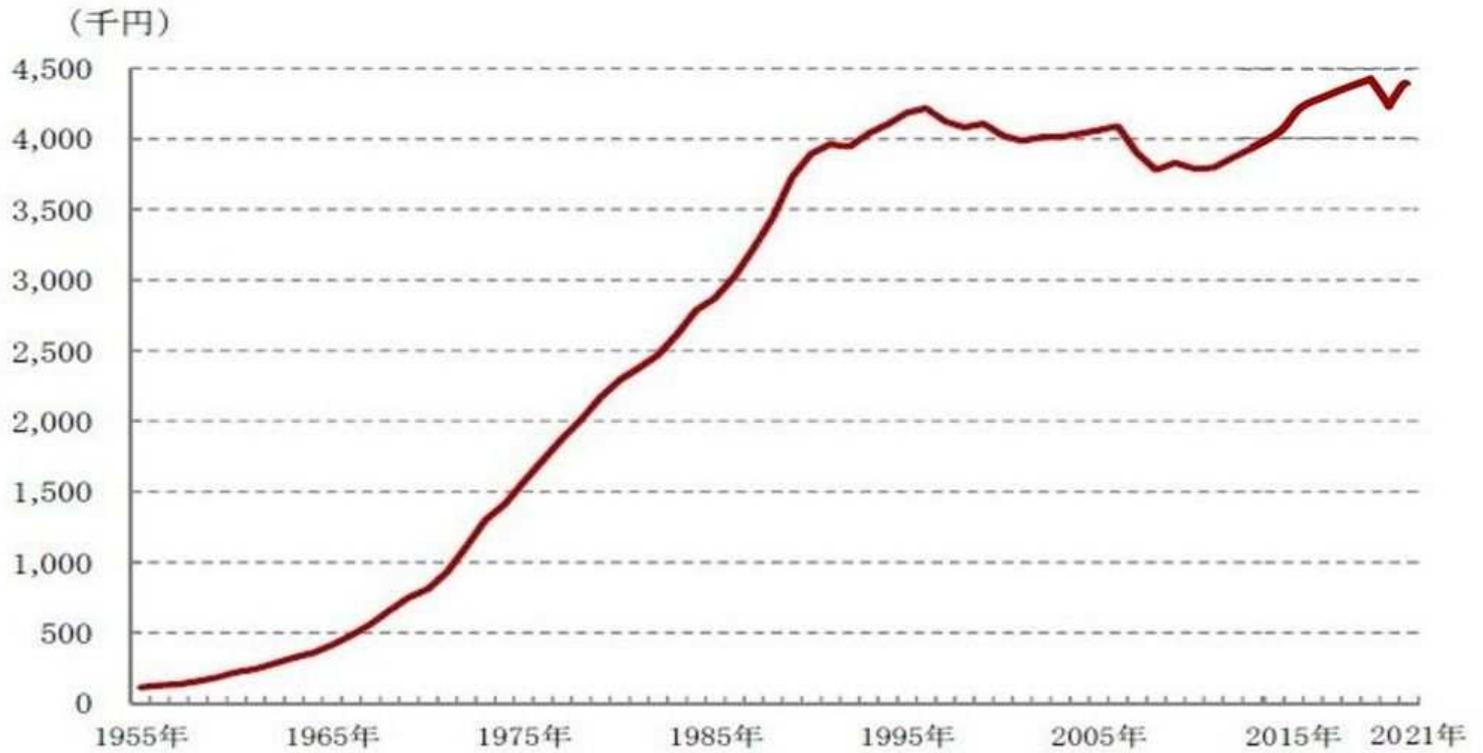
長期欠席児童生徒の推移

(文部科学省「学校基本調査」「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」より)

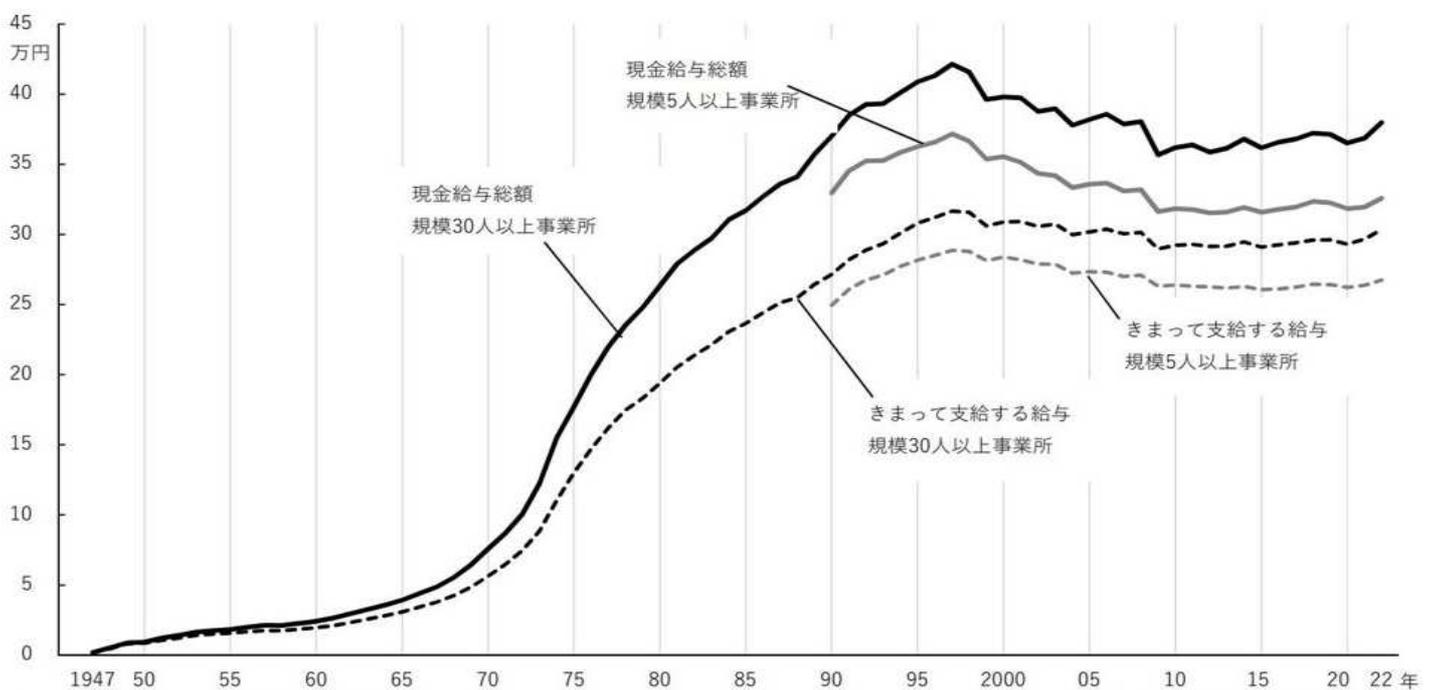


日本における一人当たりGDPの推移

(ウェブサイト「世界経済のネタ帳」から作成)



常用労働者1人平均月間現金給与総額、きまって支給する給与額



資料出所 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

労働政策研究・研修機構 (JILPT)

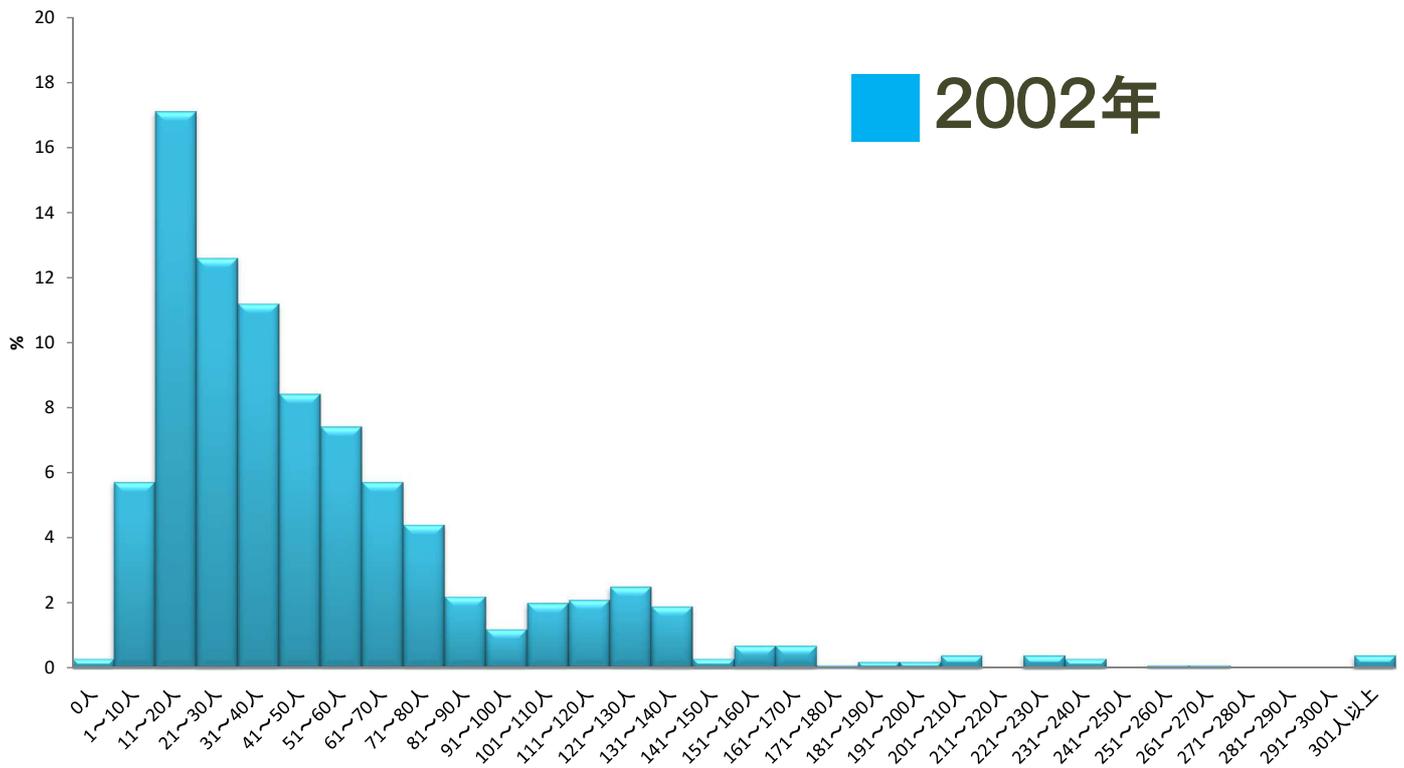
注1 規模30人以上事業所の1969年以前はサービス業を除く調査産業計

注2 2019年6月分速報から、「500人以上規模の事業所」について全数調査による値に変更している。

注3 2004年～2011年は時系列比較のための推計値。2012年～2017年は東京都の「500人以上規模の事業所」についても再集計した値 (再集計値)。

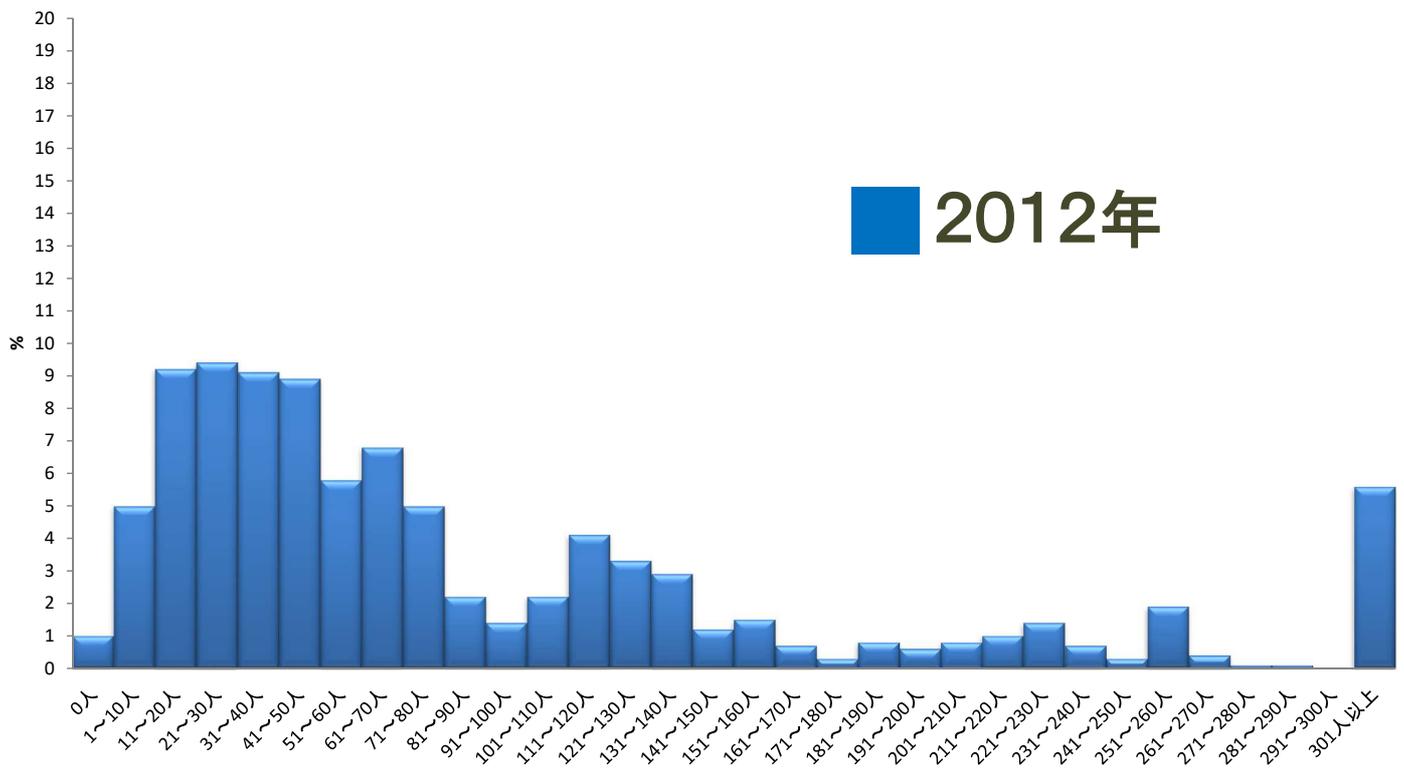
友だちの人数の変化

(青少年研究会調査結果から)



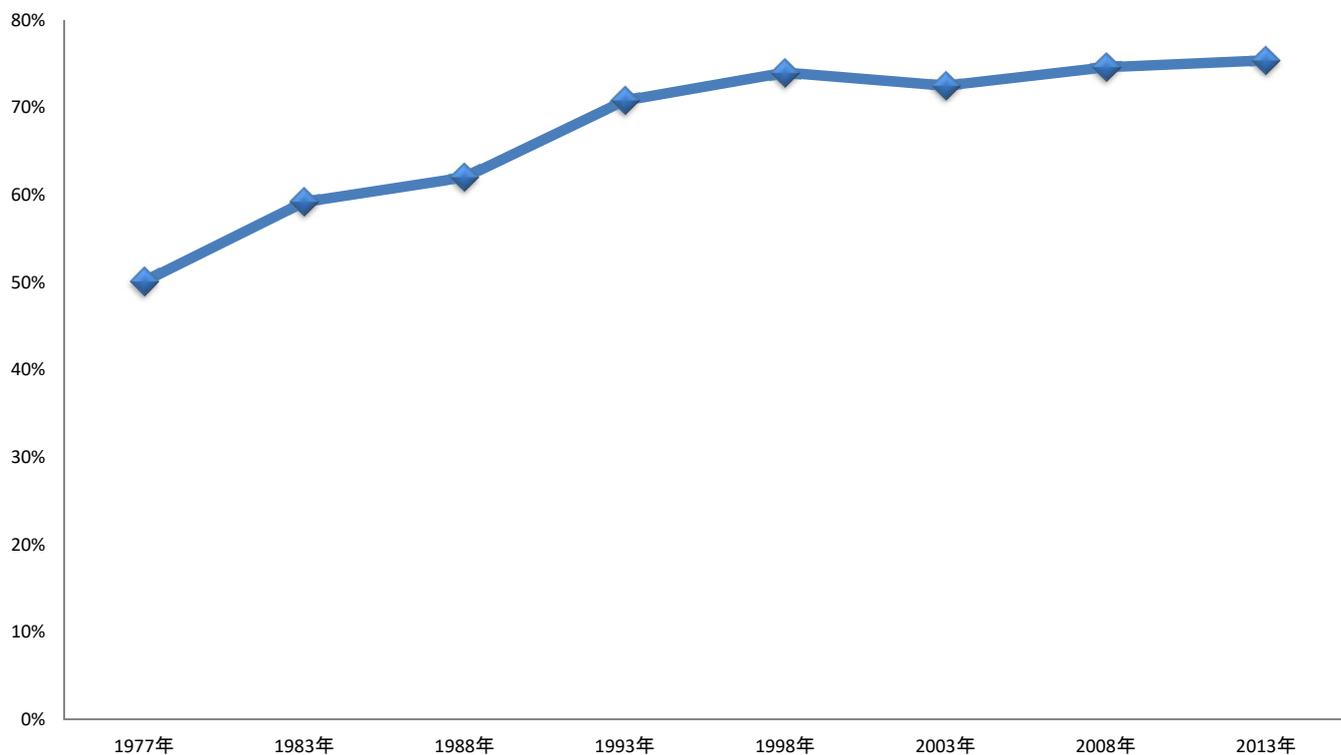
友だちの人数の変化

(青少年研究会調査結果から)



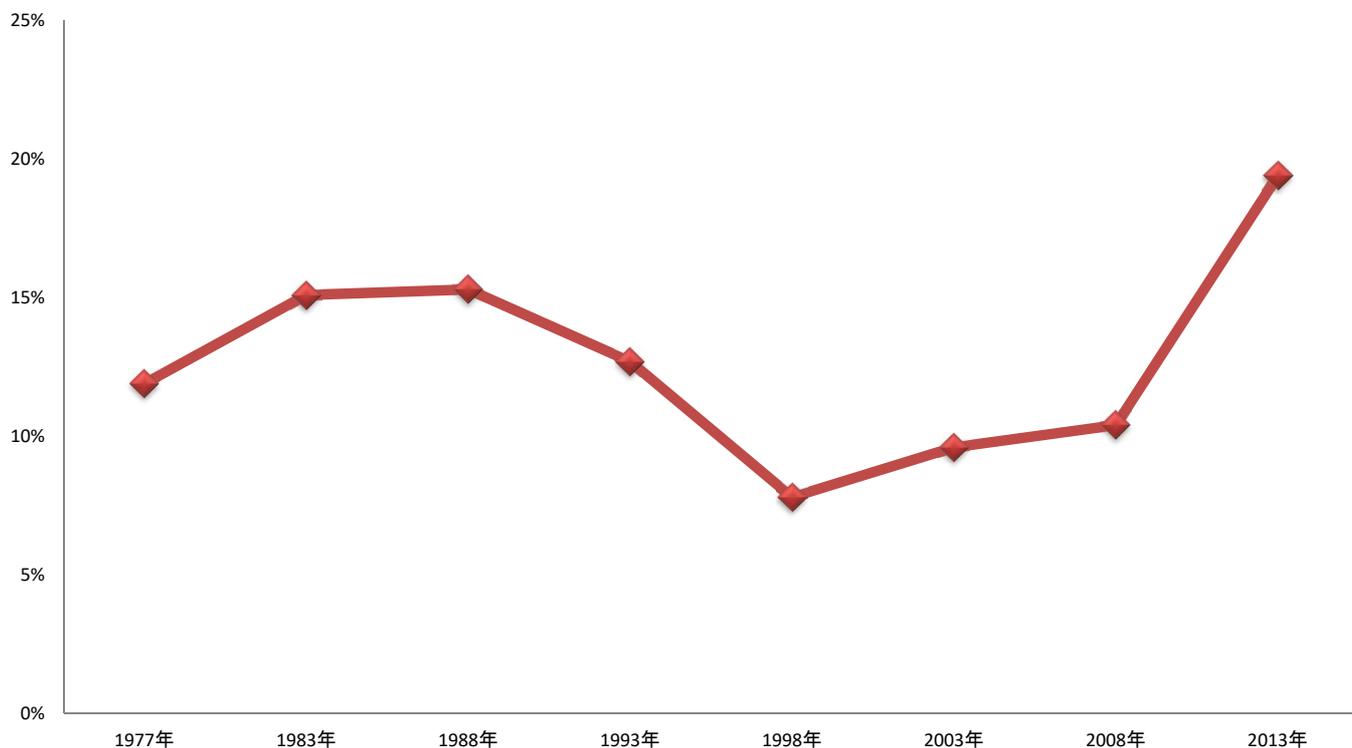
友人や仲間といるときに充実感(18~24歳)

(内閣府「世界青年意識調査」から作成)



悩みや心配ごとは友人や仲間のこと

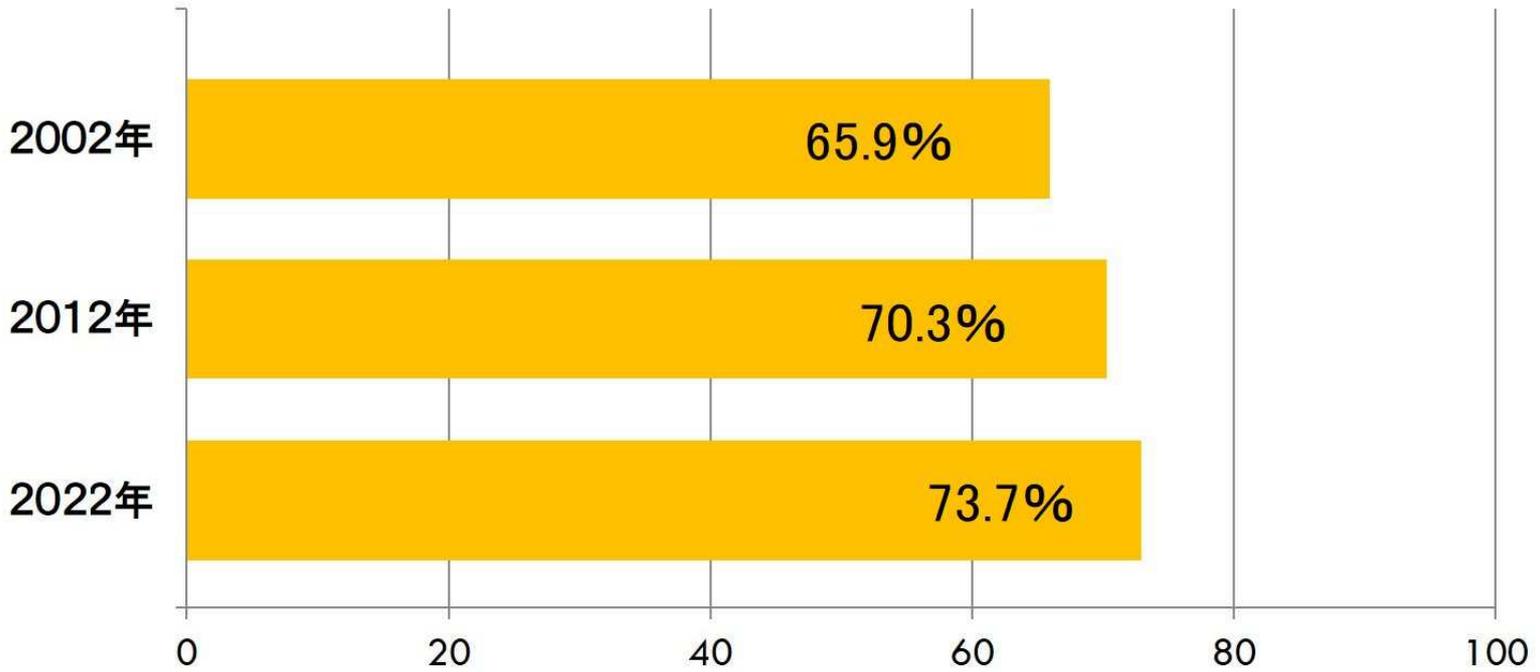
(内閣府「世界青年意識調査」から作成)



遊ぶ内容によって、一緒に遊ぶ友だちを使い分けている

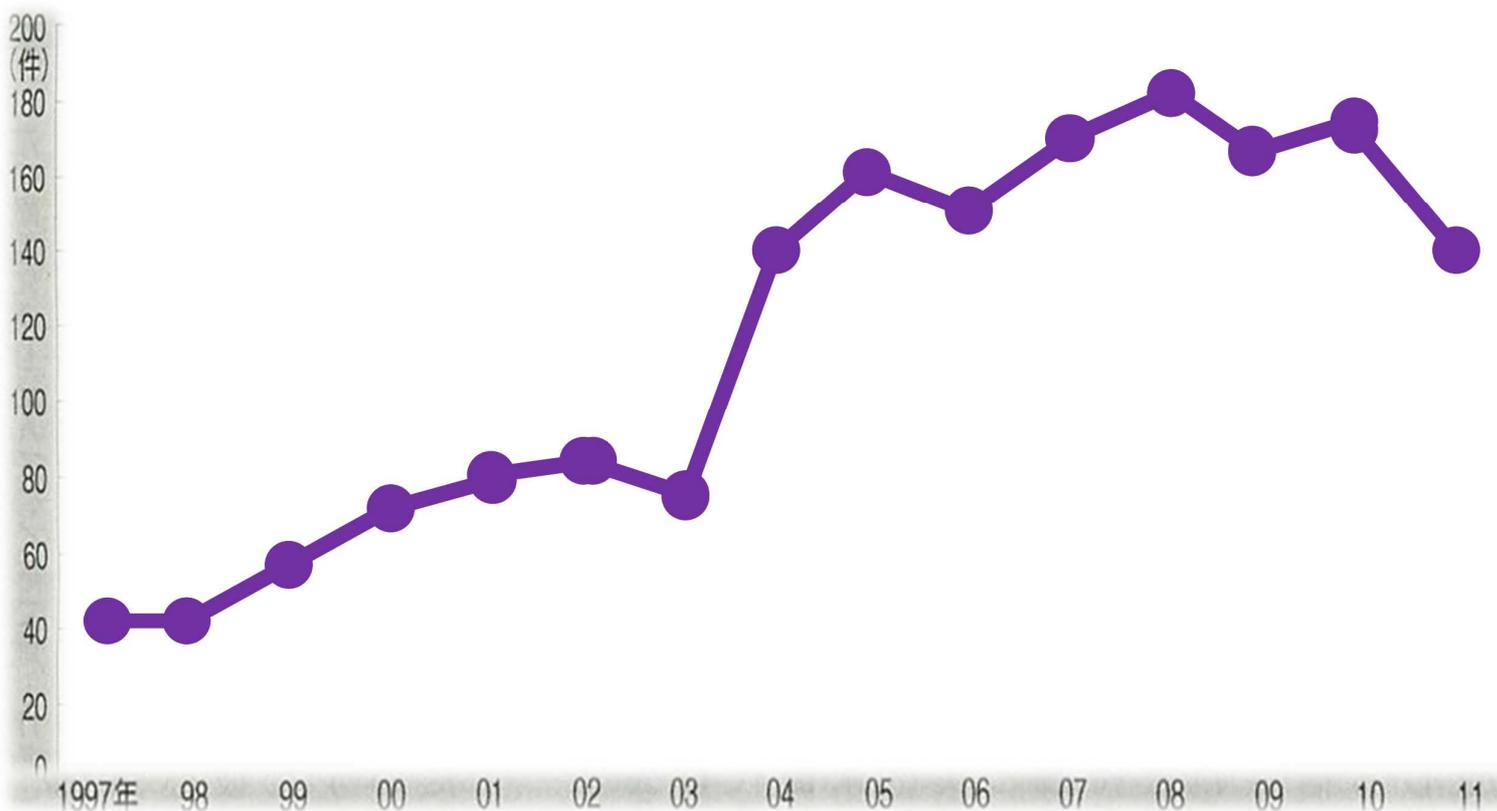
(辻泉「現代青少年の文化と意識(3)友人関係の変容」第86回日本社会学会大会報告(2013年)から引用)

「はい」と答えた人の割合(%)



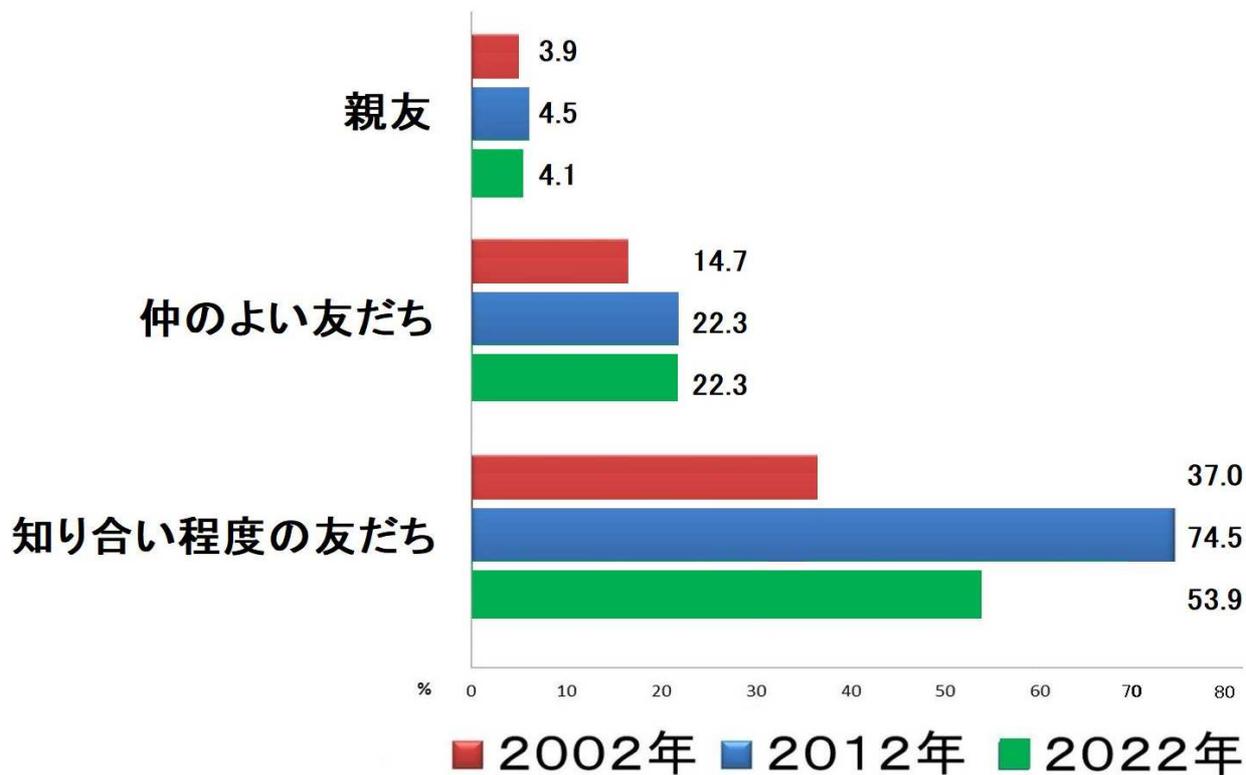
「コミュニケーション能力」が出てくる朝日新聞の記事数

(「朝日新聞」(2012年7月21日)朝刊から)



友人の数の推移(16~29歳)

(青少年研究会「若者の生活と意識に関する調査」から)

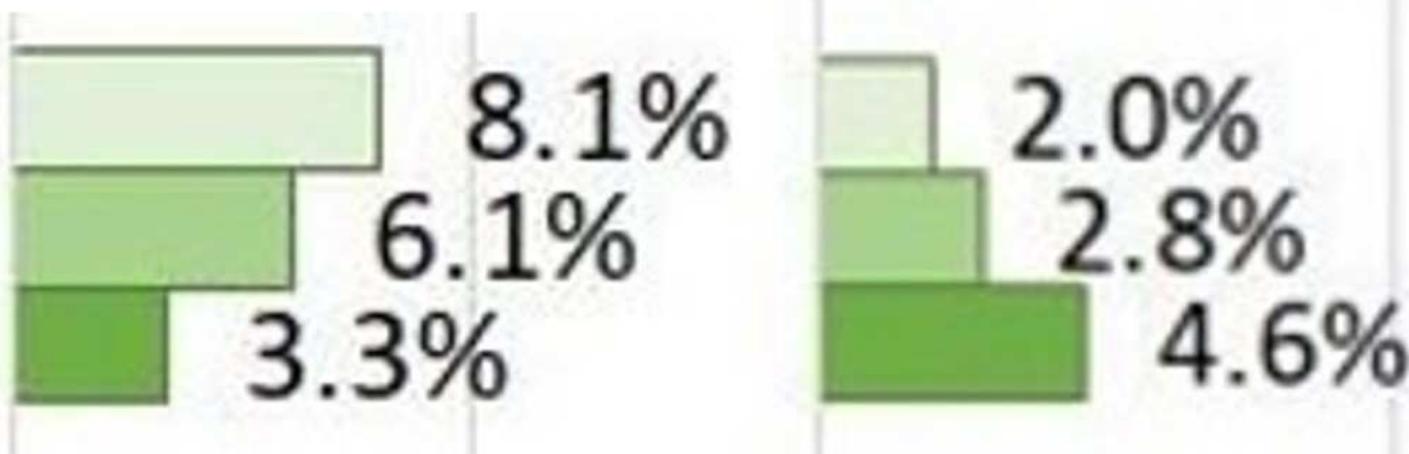


進路希望の理由(先輩や友達がそうしているから)

(内閣府「令和3年 子供の生活状況調査」報告書から転載, 全国の中学2年生から抽出)

大学またはそれ以上

高校まで

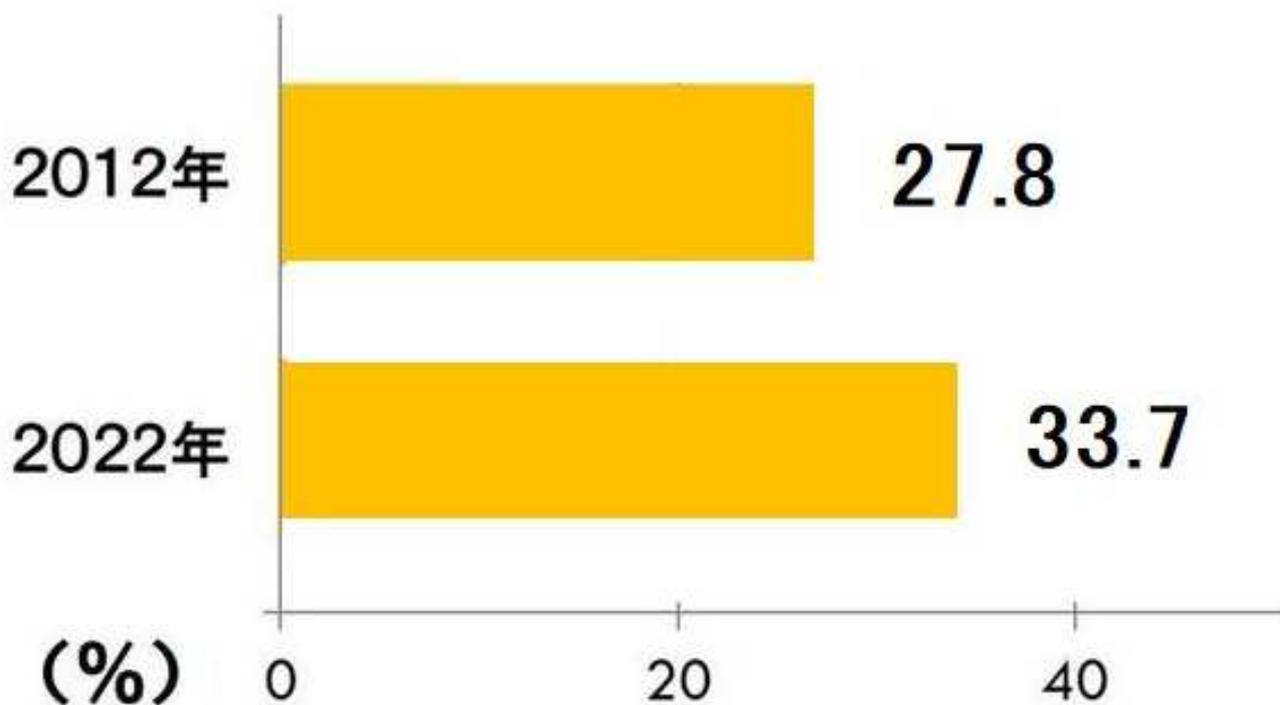


等価世帯収入の水準

- 中央値以上(n=830)
- 中央値の2分の1以上中央値未満(n=360)
- 中央値の2分の1未満(n=91)

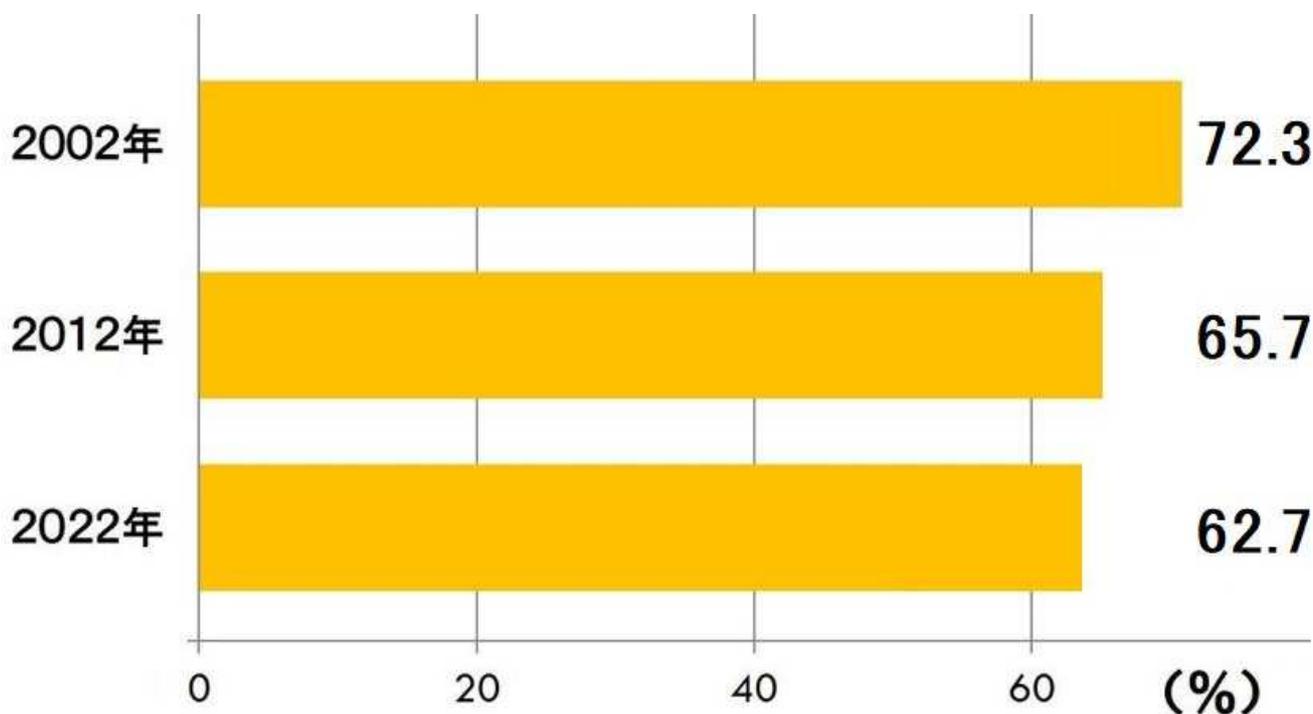
仲のよい友人でも私のことをわかっていない(16~29歳)

(青少年研究会「若者の生活と意識に関する調査」から)



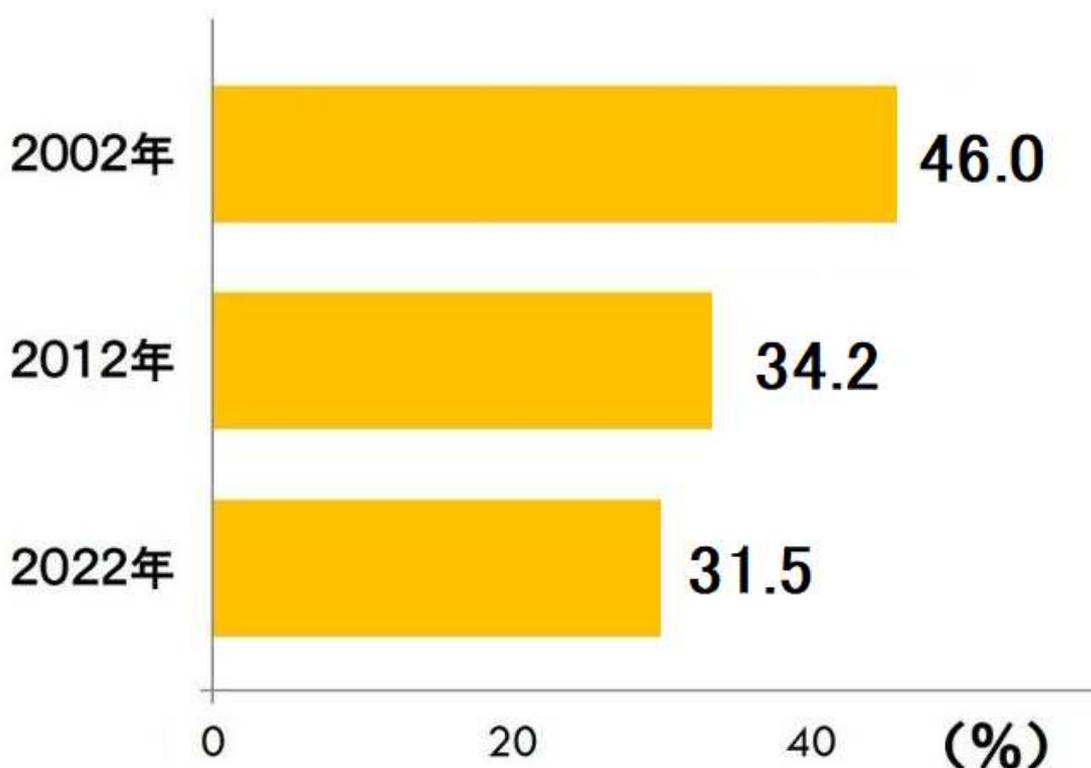
親友と真剣に話ができる(16~29歳)

(青少年研究会「若者の生活と意識に関する調査」から)



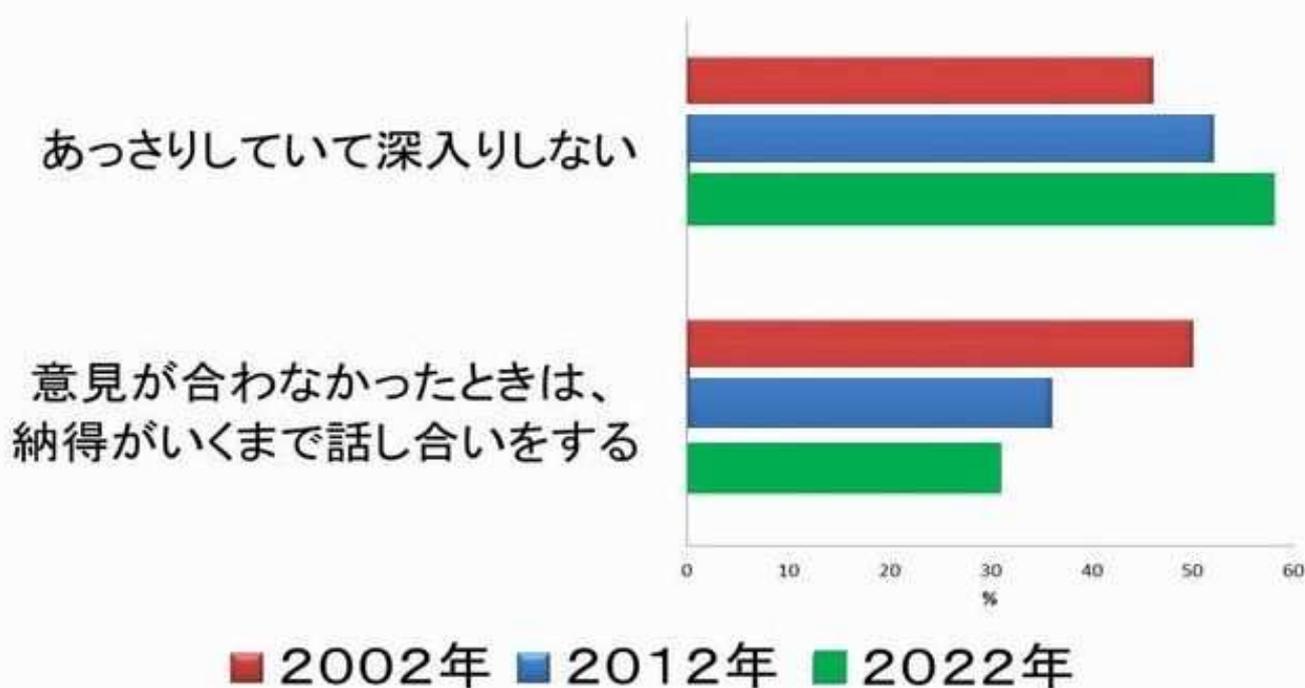
親友とケンカしても仲直りできる(16~29歳)

(青少年研究会「若者の生活と意識に関する調査」から)



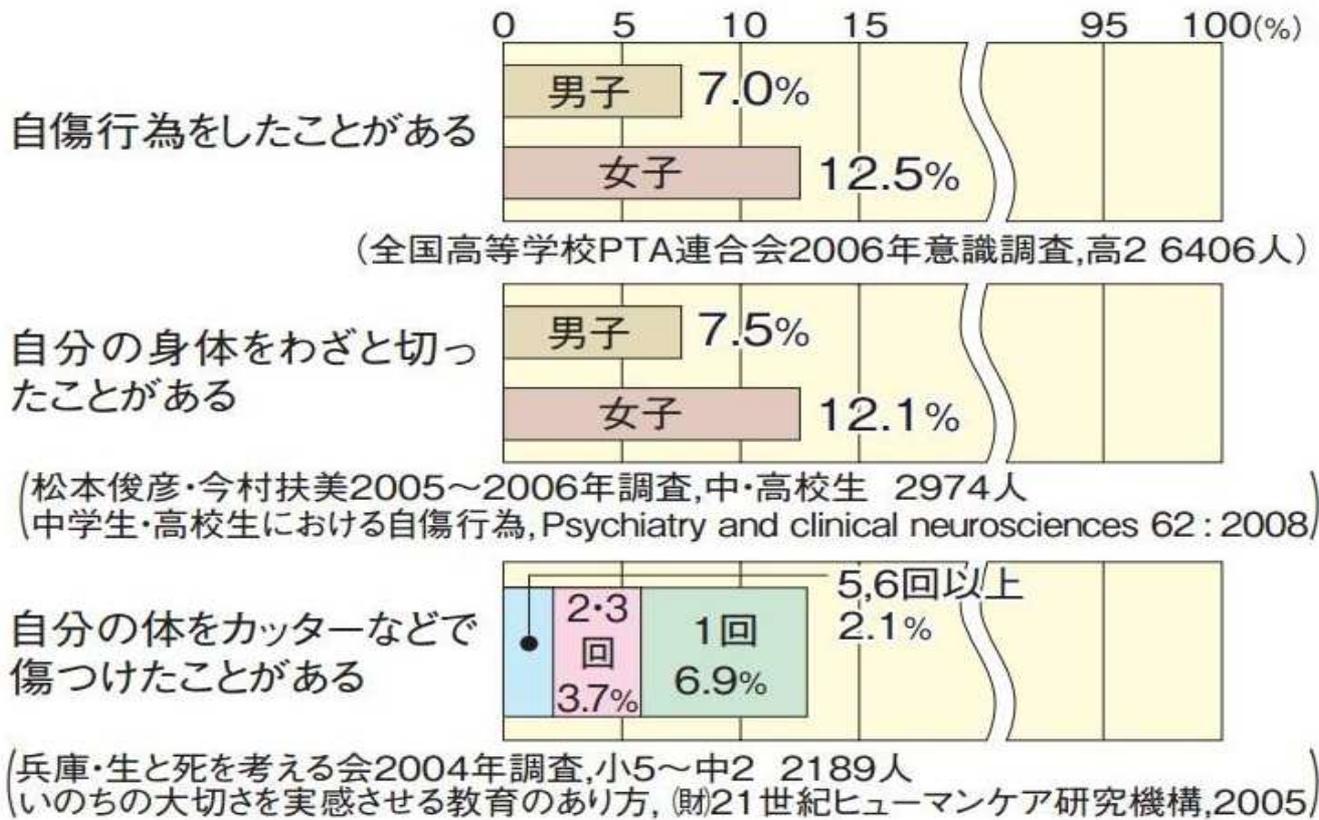
友だちとの付き合い方(16~29歳)

(青少年研究会「若者の行動と意識に関する調査」から)



子どもの自傷行為の実態

(文部科学省「教師が知っておきたい子どもの自殺予防」(2009年)から転載)



精神障害を有すると診断された少年院入院者数

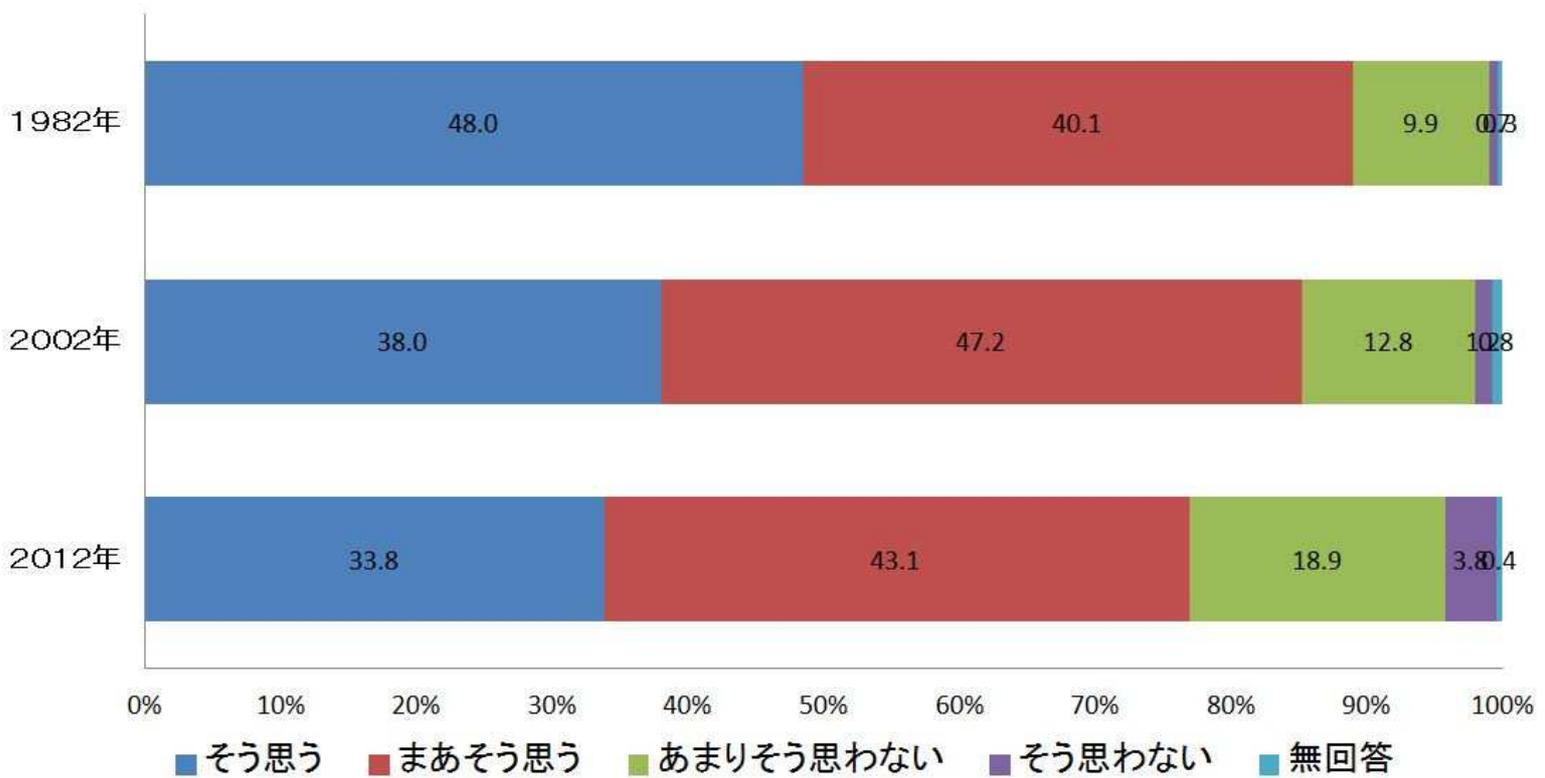
(「2019年版犯罪白書」ウェブサイト「毎日新聞 医療プレミア2023年7月4日」から重引)

	少年院 入院者総数	うち 精神障がい を有する者				
		知的障がい	人格障がい	神経症性 障がい	その他の 精神障がい	
1989年	4,811	174 (3.6)	94 (2.0)	3 (0.1)	4 (0.1)	73 (1.5)
2003年	5,823	281 (4.8)	103 (1.8)	18 (0.3)	5 (0.1)	155 (2.7)
2018年	2,108	476 (22.6)	144 (6.8)	7 (0.3)	3 (0.1)	322 (15.3)

*「精神障がいを有する者」は、「知的障がい」「人格障がい」「神経症性障がい」「その他の精神障がい」を有すると診断された者。
 **「その他の精神障がい」は、精神作用物質使用による精神及び行動の障害、統合失調症、気分障害、発達障害等を含む。
 *** () 内は、総数に占める比率。

自分には「自分らしさ」がある(16~29歳)

(青少年研究会「若者の行動と意識に関する調査」から)



自分がダメな人間だと思うことがある

(日本青少年研究所「高校生の生活意識と留学に関する調査報告書」2013年から転載)

